

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

A事業①、② 『ASEAN等海外市場開拓事業』

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

当機構では、高品質な製品や先端技術を有する県内企業の海外展開への支援、海外との経済交流の促進、さらには海外企業との連携や海外拠点の構築への支援などを推進している。これまでは、環日本海地域のうち特に中国を中心に海外展開支援を実施してきた。しかし、中国国内の経済状況の変化（人件費（製造原価）の高騰、米中貿易摩擦による貿易物品の高関税化、新型コロナウイルスの蔓延による生産機能のマヒなどの影響）により、“世界の製造工場”としての優位性に陰りが見え始めてきている。中国に製造拠点を持つ世界各国のメーカーは、事業継続計画（BCP）の観点から周辺各国へ生産拠点の移転・分散化を進めている。国内需要の縮小なども踏まえ、今後は中国に加えASEAN諸国への販路拡大にも目を向けていく必要がある。

そのため、本事業では、中国やASEAN諸国のうち、4つの地域（中国（大連）、タイ、ベトナム、シンガポール・マレーシア）への海外展開支援を実施するものである。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉、評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

本事業では、ASEAN 地域等のうち（1）（3）①中国（大連）及び②タイへの見本市出展支援と出展助成、ならびに（2）①ベトナム及び②マレーシア・シンガポールへの経済ミッションの参加、企画・開催の実施を計画していた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響から海外渡航が制限されたため、②タイへの見本市出展支援と出展助成、（2）①ベトナム及び②マレーシア・シンガポールへの経済ミッションの参加、企画・開催を中止（不催行と）し、事業を縮小することとした。（不催行事業は、以下に取り消し線・斜線で表示した。）

なお、各実施事業と助成対象事業の区分は以下のとおり。

- A事業① 新事業展開等助成金交付事業 （3）見本市出展助成
- A事業② 新事業展開等促進事業 （1）見本市出展支援
- ~~（2）海外経済ミッション派遣~~
- （4）海外販路開拓マネージャーの設置

(1) 見本市出展支援 …A事業② (3) 見本市出展助成 …A事業①		(2) 海外経済ミッション派遣 …A事業②	
① 中国（大連） 「中日（大連）博覧会」への出展支援	② タイ 「METALEX」への出展支援	① ベトナム 経済訪問団への派遣 同行	② マレーシア・シンガポール 海外経済ミッションの実施
(4) 海外販路開拓マネージャーの設置 …A事業② 海外市場開拓の支援体制整備（窓口相談機能・海外出展サポートの強化）			

(1) 見本市出展支援 …A事業②

① 中国「中日（大連）博覧会」（「大連日本商品展覧会」）

<事業内容>

本博覧会には、これまでも当機構から出展支援をしてきたが、2019年から遼寧省政府が主催し、他都市にて行われていた「中日商談会」が同一会場で行われることとなったことから、商談件数が増えている。本年度は、本商談会を共催する北陸銀行（富山県の地方銀行）の協力を得ながら、本県からの出展企業の参加を積極的に促し、B to Bの商談成立→海外取引先との販路拡大の促進を図る。

ならびに、本展覧会における現地での生の声を踏まえ、今後、大連市人民政府等が主催する「中日経済協力発展フォーラム」に、当機構や本県出展企業が積極的に参加し、本県と大連市との経済交流を促進する。

<実績・評価等>

本博覧会は、次年度の国家級博覧会への昇格を念頭に、「中日（大連）博覧会」と改称して開催された。県内企業の出展意欲は高く、また当機構においても出展助成の充実や販路開拓マネージャーによる出展企業の掘り起こしなどを行った結果、当初は前年の18社・団体を上回る21社・団体からの申し込みがあった。しかしながら、コロナの影響により現地に渡航しての出展は断念せざるを得なくなったが、販路開拓マネージャーが中心となり大連市等との折衝を行った結果、代理出展又は現地法人等による出展という形で8社・団体の出展が実現した。

開催日時：2020年9月25日（金）～27日（日）

開催場所：大連世界博覧広場A、Bホール

出展小間数：530小間（昨年度490小間）

来場者数：10.3万人（前回10.6万人）

商談数；約2,600件

成約金額（見込みを含む）：約4.7億人民元（前回約3.9億人民元）

出展支援社数：8社・団体（代理出展4社、現地法人による出展4社）

<課題等>

先述のとおり「中日（大連）博覧会」は、2021年には、国家級の博覧会への昇格を目指しており、一層の規模拡大や注目度の向上が見込まれ、中国市場での販路開拓にあたって重要性が増していくものと思われる。また、本展覧会終了後、主催者より今後は、B to B商談機会の創出に力を入れる旨の表明があり、県内企業にとってさらなる取引拡大を見込むことができる。中国の内需の着実な成長が見込まれる巨大市場を見据え、状況に応じて出展の形態を変更するなど柔軟な対応を取りながら本博覧会へ継続的な出展を行う必要がある。

② タイ「METALEX」

<事業内容>

タイには、これまで富山県（立地通商課）がASEAN最大規模の機械分野の展示会「METALEX」への出展支援を実施してきた。

本年度から、事業実施主体が当機構へ移管されることもあり、2019年度に本助成事業のB事業を活用して、タイへの海外販路開拓調査を実施し、現地政府機関や県内からの進出企業などを訪問・ヒアリングを行い、現地最新情報の入手、市場調査を行うとともに関係強化を図った。

当機構では、これを機に「METALEX」への新規出展企業を増やして規模を拡大し、B to C・B to Bの両面から促進を図る。既に出展実績のある企業には商談会の活用を促し、B to B取引の拡大を促進する。

〈実績・評価等〉

独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）が出展サポートするジャパン・パビリオンに富山県内企業を取りまとめて出展を実施する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症を鑑みジェトロが出展を見送ったため不催行となった。

〈課題等〉

県内企業においてASEANは最注力先であることは変わらず、コロナの状況によりタイ以外の国・地域も視野に入れ柔軟にビジネス展開を促す必要がある。

（2）海外経済ミッション派遣 … A事業②

① ベトナム経済訪問団への参加

〈事業内容〉

富山県では、県内中小企業のベトナム進出や販路拡大・優秀な人材確保等を促進するため、知事を団長とした経済訪問団の派遣を予定している。

当機構では 2019 年度に本助成事業の B 事業により、富山県国際経済交流推進協議会が主催する「富山県東南アジア貿易投資ミッション」に同行し、JICA や JETRO のブリーフィング等を通じ、ベトナムの投資環境・経済状況などの情報を入手するとともに、現地進出企業へ訪問し、労働事情や人材確保、ベトナムでの事業展開等について意見交換を行った。また、日本・ベトナム両政府の協力事業として開設された日越大学の訪問では、高度人材の育成に向けた取り組みやベトナムの人材について説明を受け交流を図った。

本年度は、県の訪問団に同行し、現地の投資環境・技術水準・人材事情への理解を深めるとともに、製造・輸出拠点としてだけでなく、将来的な消費市場として県内中小企業の新たな進出先の可能性を探ることとする。

〈実績・評価等〉

新型コロナウイルス感染症の拡大のため渡航が困難となり、訪問団の派遣が見送られたため不催行となった。

〈課題等〉

ベトナムは、ASEAN 諸国の中でも安定的な経済成長や投資環境の優位性により、生産国としての将来は明るく、県内企業からの新たな進出先としての期待も高い。一方、消費国としての将来性も期待されることから、継続的な現地調査の実施を検討していく必要がある。

② マレーシア・シンガポールへの経済ミッションの実施

〈事業内容〉

マレーシアとシンガポールは ASEAN の中心に位置し、人口 6.5 億人を有する ASEAN ビジネスのハブとして期待されている。

マレーシアはインフラ設備が進み大規模な工業団地を有し、世界各国から製造業が進出している。また、近年では所得水準向上により消費市場としての魅力も高まっている。一方、シンガポールは優れたインフラや税制優遇によりビジネスをしやすい環境が整い、近年は「スマートネーション」構想という国を挙げたデジタルイノベーション戦略を推し進めている。

このことから、現地への製造拠点の進出及び現地企業との交流による最新のデジタル環境・ビジネス情報の入手、巨大なムスリム市場への販路開拓・ビジネス展開の可能性を探るために、当機構が主体となりミッション団を組成・派遣し、現地情報を収集する。

〈実績・評価等〉

新型コロナウイルス感染症の影響により渡航が困難となったため不催行となった。

<課題等>

コロナ禍で従来のような海外での現地調査や新規顧客開拓の実施が困難になっているなか、別事業で実施した海外の消費市場をバーチャルで視察する事業は好評であった。このことから、現地への渡航が困難な状況下では代替事業も検討する必要がある。

(3) 見本市出展助成 …A事業①

<事業内容>

海外展開を見込む県内中小企業は年々増加傾向にあるが、資金面が一つのネックとなっている。本事業により海外出展に係る助成件数を補充・拡大することで、グローバルなビジネス展開を総合的にサポートする。

① 中国「大連日本商品展覧会」

<実績・評価等>

選定委員による書面審議の結果4社の交付決定を行ったが、うち3社は出展を見送ったため中止申請を受理し、1社のみ出展助成を執行した。

<課題等>

令和3年度は現地へ渡航しての出展を予定しているが、コロナ禍の状況によっては出展方法を変更することも視野に入れ、支援対象経費の拡充を図る必要がある。

② タイ「METALEX」

<実績・評価等>

上記(1)②のとおり、事業を中止したため出展助成は不執行となった。

<課題等>

上記(1)②のとおり、多様な国・地域とのグローバルなビジネス展開を促す必要がある。また、出展助成として、従来のオフライン型の出展に加えて、昨今急増しているデジタル技術によるオンラインの展覧会や商談会にも幅広く活用できるよう補助制度の拡充の声は強い。

(4) 海外販路開拓マネージャーの設置 …A事業②

<事業内容>

本事業を円滑に行うため、海外販路開拓マネージャーを新たに設置し、当機構の海外市場開拓の支援体制を整備拡充するとともに、海外展開に関する情報不足やビジネス機会が少ない県内中小企業の事業展開への掘り起しを行う。

また、既進出企業の更なる事業拡大を促進するため、継続調査で得られた蓄積データの分析を行い、より戦略的な出展商品の選定・販路開拓の方法・商談への取組方法など実践的なアドバイスをするなど、個別企業への伴走型支援を実施していく。

<実績・評価等>

今年度は、コロナ禍の影響により渡航を伴う出展サポートは困難となったが、県内企業からの強い要望に応えるため、海外販路開拓マネージャーの人脈を活かし現地政府機関と調整を図るなど柔軟に対応した。他方では、オンラインを活用した交流事業の提案を受け、海外政府機関や現地企業に県内企業のPRを行うなど新しいビジネスチャンスの創出にも力を入れている。

<課題等>

海外ビジネスの機会が多様化し、今まで以上に個別企業への伴走型の支援が必要になっている。現地での情報収集が困難となる中、海外販路開拓マネージャーのネットワークを活かし、関係機関や海外政府機関と連携し、県内企業のニーズに沿った有用な情報のフィードバックを行い、アフターコロナを見据え戦略的に海外展開に取り組むために必要な情報を提供することが求められている。

また、昨今のコロナ禍により、デジタル技術を活用したオンラインでの商談や打合せ等

が急速に普及しつつある。この流れは、コロナ禍を契機として今後も続くと思われることから、デジタルインフラを整備し、県内企業のデジタル化を促すとともに、国内外に向けたビジネス展開の促進、販路拡大や輸出促進を図る必要がある。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

国内市場の成熟、人口減少による国内需要の低迷に加え、今回のコロナ感染拡大は県内企業に大きな打撃を与えた。このような中、海外展開の手を止めることなく推し進めることで、県内企業の国際競争力の維持・強化を促し、地域経済を牽引していく役割は大きい。

そのために、今年度の事業で浮き彫りになった課題を次年度以降の事業に活かし、変わりゆく海外ビジネスに臨機応変に対応し、県内企業のニーズに添ったより細やかな支援の実施が不可欠である。

県内企業の海外展開への支援の充実に向け、富山県と一体となって取り組んでいくとともに、関係機関との海外支援ネットワークをより強固にすることで、県内企業に有用な情報を共有し総合支援の推進を図っていく事とする。